



2026年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年12月12日

上場会社名 株式会社イタミアート 上場取引所 東
コード番号 168A URL <https://www.itamiarts.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊丹 一晃
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 一ノ瀬 達也 TEL 086(805)4150
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年1月期第3四半期の連結業績 (2025年2月1日～2025年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年1月期第3四半期	百万円 3,597	% -	百万円 214	% -	百万円 222	% -	百万円 405	% -
2025年1月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2026年1月期第3四半期 406百万円 (-%) 2025年1月期第3四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年1月期第3四半期	円 銭 276.11	円 銭 275.66
2025年1月期第3四半期	-	-

(注) 2026年1月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2026年1月期第3四半期の対前年同四半期増減率、2025年1月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
2026年1月期第3四半期	百万円 5,619		百万円 1,581		% 28.1	
2025年1月期	-		-		-	

(参考) 自己資本 2026年1月期第3四半期 1,581百万円 2025年1月期 -百万円

(注) 2026年1月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2025年1月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年1月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 20.00	円 銭 20.00
2026年1月期	-	0.00	-		
2026年1月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年1月期の連結業績予想 (2025年2月1日～2026年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 4,753	% -	百万円 159	% -	百万円 161	% -	百万円 364	% -

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2026年1月期中間期より連結決算に移行いたしました。2025年1月期は連結決算を行っていないため、「対前期増減率」については記載しておりません。

※ 連結業績予想につきましては、2025年9月12日の「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想をご覧ください。なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 東京ネオプリント株式会社、除外 一社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年1月期 3Q	1,470,000株	2025年1月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	2026年1月期 3Q	-株	2025年1月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年1月期 3Q	1,470,000株	2025年1月期 3Q	1,367,299株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、2026年1月期第2四半期（中間期）決算より連結決算へ移行したため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析はおこなっておりません。

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年2月1日～2025年10月31日）におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を維持しつつも、企業間での消費獲得競争が激化する状況で推移いたしました。雇用・所得環境の改善とインバウンド需要の継続的な拡大に支えられ、個人消費はサービス分野を中心を持ち直しました。しかし、物価上昇による生活防衛意識の高まりから、消費者の購買行動は一層選別的となり、企業は消費者を惹きつけるための施策強化を迫られました。このような経済環境のもと、消費者の選別志向に対応するため、店舗での販売促進活動（POP、デジタルサイネージ、ノベルティグッズなど）への投資が活発化しました。また、行動制限のない状況が定着したことにより、企業による大規模なリアルイベントや展示会の開催が本格的に再開され、それに伴うブース装飾、記念品、配布物などのSP商材需要が回復基調を維持しました。一方で、原材料費や物流費、人件費などのコスト高は引き続き業界全体の収益を圧迫しました。このため、メーカーやSP事業者においては、資材調達の多様化や生産プロセスの効率化、高付加価値商材へのシフトによる価格転嫁の動きも見られました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,597,140千円、営業利益は214,010千円、経常利益は222,123千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は405,881千円となりました。

なお、当社グループはSP商材の企画・制作・販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（売上高）

当第3四半期連結累計期間の売上高は3,597,140千円となりました。これは主に、積極的なプロモーション活動やSEO対策に加え、法人顧客への営業強化に注力したことなどによります。

（売上原価、売上総利益）

当第3四半期連結累計期間の売上原価は2,230,850千円となりました。これは主に、原材料費、人件費及び減価償却費の計上によるものです。この結果、売上総利益は1,366,289千円となりました。

（販売費及び一般管理費、営業利益）

当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は1,152,278千円となりました。これは主に、広告宣伝費、荷造運賃、人件費及び支払手数料の計上によるものです。この結果、営業利益は214,010千円となりました。

（営業外収益、営業外費用、経常利益）

当第3四半期連結累計期間の営業外収益は27,880千円となりました。これは主に、受取家賃の計上によるものです。また、当第3四半期連結累計期間の営業外費用は19,768千円となりました。これは主に、支払利息の計上によるものです。この結果、経常利益は222,123千円となりました。

（特別利益、特別損失、法人税等合計、親会社株主に帰属する四半期純利益）

当第3四半期連結累計期間の特別利益は254,010千円となりました。これは主に、東京ネオプリント株式会社の株式取得による連結子会社化に伴い発生した負ののれん発生益によるものです。なお、負ののれん発生益の金額は当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。特別損失は3,504千円となりました。これは固定資産除却損の計上によるものです。当第3四半期連結累計期間の法人税等合計は66,746千円となりました。これらの結果を受け、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は405,881千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,619,320千円となりました。流動資産は1,957,417千円、固定資産は3,661,903千円となりました。

流動資産の主な内訳は現金及び預金が976,624千円、受取手形及び売掛金が657,376千円です。

固定資産の主な内訳は建物及び構築物が1,353,339千円、機械装置及び運搬具が867,428千円、土地が955,992千円です。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は4,037,649千円となりました。流動負債は1,857,402千円、固定負債は2,180,247千円となりました。

流動負債の主な内訳は短期借入金が448,000千円、1年内返済予定の長期借入金が583,243千円、その他（流動負債）が541,483千円です。

固定負債の主な内訳は長期借入金が1,998,545千円です。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,581,670千円となりました。

主な内訳は資本金が459,620千円、資本剰余金が361,620千円、利益剰余金が759,612千円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2026年1月期第2四半期（中間期）決算より連結決算に移行しております。

2026年1月期の業績予想につきましては、第3四半期連結会計期間は計画を若干上回る水準で推移したものの、第4四半期連結会計期間の利益額が他の四半期連結会計期間に比べて少額であることに加え、投資計画の一部ずれ込み、連結子会社の業績改善が改善途上で不安定であることなどの要因を個別に検討した結果、現時点で2025年9月12日発表の通期の連結業績予想からの変更はありません。

なお、当該連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2025年10月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	976,624
受取手形及び売掛金	657,376
電子記録債権	32,320
商品及び製品	36,822
仕掛品	44,503
原材料及び貯蔵品	110,221
その他	99,547
流動資産合計	1,957,417
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	1,353,339
機械装置及び運搬具（純額）	867,428
土地	955,992
その他（純額）	331,251
有形固定資産合計	3,508,011
無形固定資産	32,835
投資その他の資産	121,055
固定資産合計	3,661,903
資産合計	5,619,320
負債の部	
流動負債	
買掛金	177,897
短期借入金	448,000
1年内返済予定の長期借入金	583,243
未払法人税等	51,144
賞与引当金	55,633
その他	541,483
流動負債合計	1,857,402
固定負債	
長期借入金	1,998,545
退職給付に係る負債	98,869
資産除去債務	27,420
その他	55,411
固定負債合計	2,180,247
負債合計	4,037,649
純資産の部	
株主資本	
資本金	459,620
資本剰余金	361,620
利益剰余金	759,612
株主資本合計	1,580,852
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	818
その他の包括利益累計額合計	818
純資産合計	1,581,670
負債純資産合計	5,619,320

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)	
売上高	3,597,140
売上原価	2,230,850
売上総利益	1,366,289
販売費及び一般管理費	1,152,278
営業利益	214,010
営業外収益	
受取家賃	17,747
売電収入	3,986
その他	6,147
営業外収益合計	27,880
営業外費用	
支払利息	13,038
その他	6,729
営業外費用合計	19,768
経常利益	222,123
特別利益	
固定資産売却益	1,936
負ののれん発生益	252,073
特別利益合計	254,010
特別損失	
固定資産除却損	3,504
特別損失合計	3,504
税金等調整前四半期純利益	472,628
法人税、住民税及び事業税	77,493
法人税等調整額	△10,747
法人税等合計	66,746
四半期純利益	405,881
親会社株主に帰属する四半期純利益	405,881

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)	
四半期純利益	405,881
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	818
その他の包括利益合計	818
四半期包括利益	406,700
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	406,700
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当第3四半期連結累計期間（自 2025年2月1日 至 2025年10月31日）

当社グループはSP商材の企画・制作・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

当第3四半期累計期間
(自 2025年2月1日
至 2025年10月31日)

減価償却費	195,100千円
-------	-----------